

あなたと町政を結ぶ



議会だより



ゆるキャン△誕生日イベント 8月31日(金) 会場:本栖高校(旧下部中学校)

※大垣千明(8月31日生)・斉藤恵那(9月1日生)…ゆるキャン△の登場キャラクター

2018
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.56



過去の議会だよりは、
こちらから閲覧できます。

9
月
定
例
会

■ 決算報告	P.2 ~ 3
■ 一般質問	P.4 ~ 10
■ 農業委員会と議員との懇談会	P.11
■ 常任委員会レポート	P.12 ~ 14
■ 討論	P.15
■ 議案に対する賛否	P.16
■ 組合議会報告・議員研修	P.17
■ 町長あいさつ	P.18
■ モニター通信	P.19
■ おじゃまします	P.20

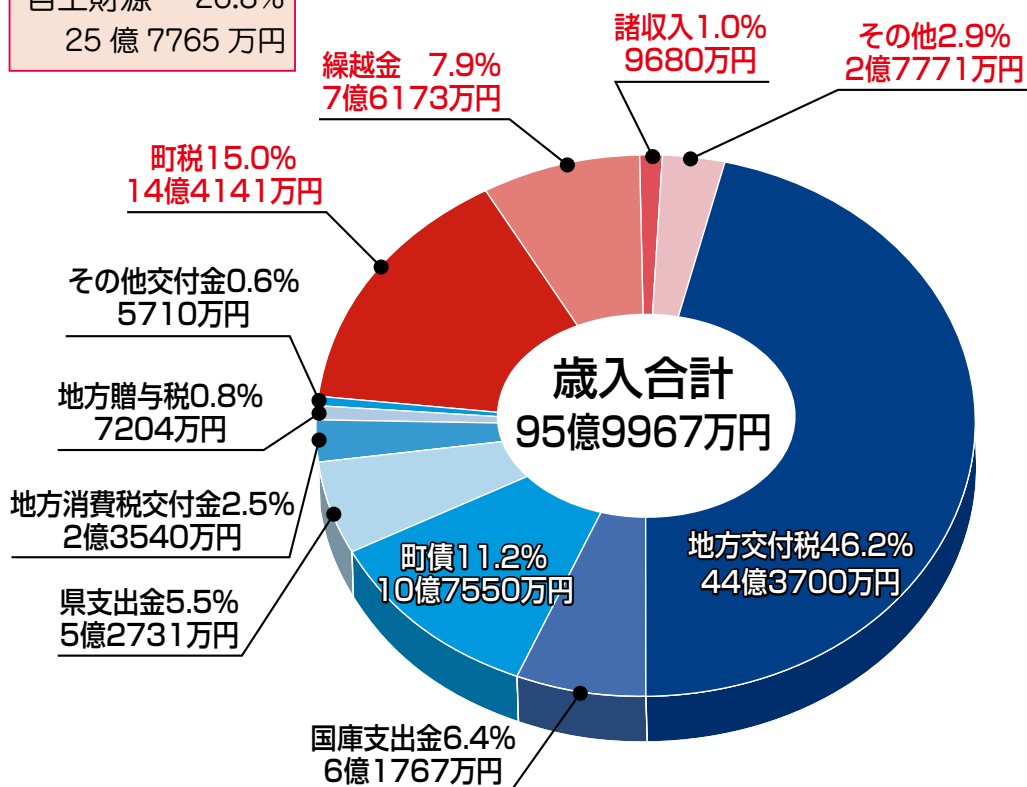
対前年比 1.7%増 を認定!

決算議会 9月定例会

9月4日から14日
11日間

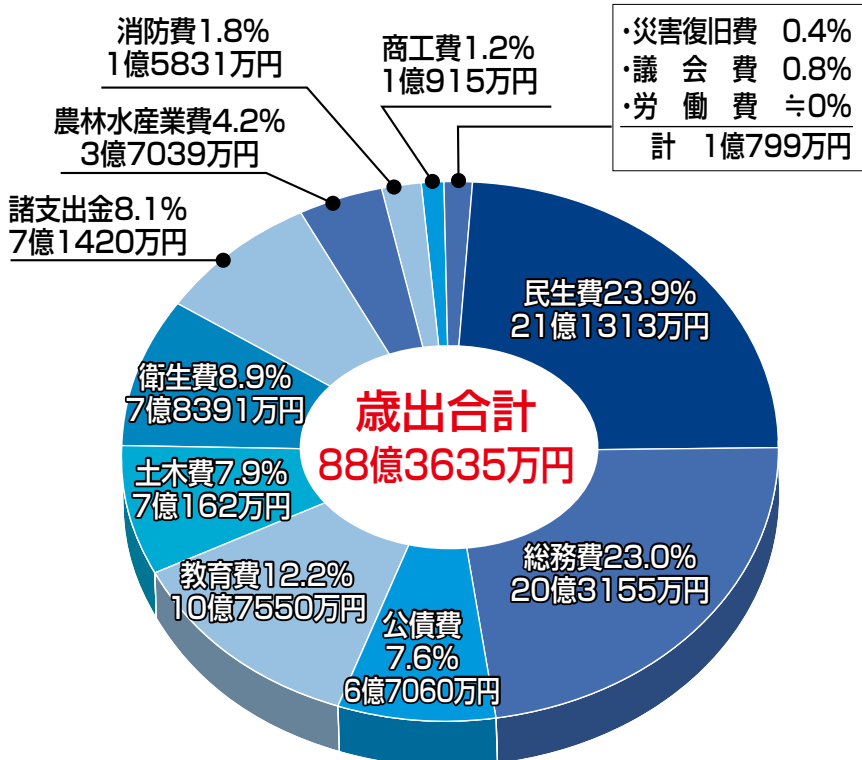
赤文字部分

自主財源 26.8%
25億7765万円



一般質問 7名

- P-4 伊藤達美議員
- P-5 望月悟良議員
- P-6 芦澤健拓議員
- P-7 赤池 朗議員
- P-8 渡辺文子議員
- P-9 田中一泰議員
- P-10 上田孝二議員



一般会計

歳入総額	95億9967万8099円
歳出総額	88億3635万4013円
差引額	7億6332万4086円

一般会計

町民一人あたり

約72万8千円

特別会計を含むと

約122万2千円

使われました

歳出 総額

平成29年度一般会計決算 88億3635万円

●町債（借金）の累積残額

*一般会計	45億6013万9千円
町民一人あたり	37万6千円
*特別会計	58億2527万9千円
町民一人あたり	48万0千円
*合計	103億8541万8千円
町民一人あたり	85万6千円

●基金（預金）の現在高

*預金	73億6850万6千円
町民一人あたり	60万7千円

*町民一人あたりの金額は、平成30年4月1日現在人口12,139人による。

キーワード

※【実質収支】

歳入から歳出と翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたもの。多ければ多いほど財政に余裕がある。

※【経常収支比率】

地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費、義務的経費）に充当されたものが占める割合。

※【合併特例措置による算定替え】

旧合併特例法の「合併後10年間は、合併前の市町村ごとに算定した普通交付税の総額を配分する」という定めに基づくもの。これを「合併算定替」と呼ぶ。だが、配分額は合併11年目から段階的に減らされ、16年目には純粋に一つの自治体として算定される。これを「一本算定」と呼ぶ。合併すると行政の効率化が見込まれるため、一本算定では一般に配分額が減る。

事務事業の更なる見直しを

決算審査意見書

代表監査委員 **渡邊吉彦**

決算収支状況は、**実質収支**※において、すべて黒字決算となっており、経費節減、事務・事業の効率的な執行など、積極的な努力が見受けられる。

歳入面については、自主財源の町税が歳入全体に占める割合が15.0%で、依存財源である地方交付税、国・県支出金が58.1%と、歳入の大部分を占めている。地方自治体の財政構造の弾力性を判断するための指標である**経常収支比率**※は72.2%で、財政の硬直化が懸念される。

また、地方交付税は、**合併特例措置による算定替え**※に伴う段階的縮減等により、対前年度比で1億8676万円が減額しており、今後の町の財政状況を考慮すると、人口減少対策をはじめとする、税源の涵養を図る諸施策について更なる充実を図る必要がある。

歳出面について、経常経費は職員給与と改定による人件費や保育所処遇改善による扶助費等の増により、対前年度比93882万円の増額である。公債費は、繰上償還に伴う償還額の減少により、対前年度比4億3933万円の減額となっている。

一般会計の主な目的別歳出のなかみ

下記金額は町民一人あたりの金額を表す

民生費	公債費	総務費	教育費	衛生費	土木費
障がい者、高齢者等の福祉サービス、保育所、生活保護などの経費	借りたお金（町債）の返済にかかる経費	庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理などの経費	学校教育、生涯学習の充実などの経費	健康増進、疾病予防、環境保全などの経費	道路、河川、公園など社会資本基盤整備などの経費
174,078円	55,243円	167,357円	88,599円	64,578円	57,799円

*人口は、平成30年4月1日現在12,139人を使用。

ここが聞きたい!

一般質問

伊藤達美 議員



問 区要望事項の対処方法は

答 必要度の高いものから順次、事業化

問 各区から提出された要望事項に関して、どのように対処しているか

総務課長 緊急を要するもの、事業実施に必要な条件等がクリアされているものから順次、対応している。必要条件をクリアしている継続要望も昨年度から積極的に予算計上している。

総務課長 緊急を要するもの、事業実施に必要な条件等がクリアされているものから順次、対応している。必要条件をクリアしている継続要望も昨年度から積極的に予算計上している。

問 ここ数年、継続案件が約70%を占めている。要望事項の絞り込み等をするなど何らかの改善策を講じるべきだが

総務課長 継続要望については、再度、内容を確認し、対応可能なもの、おおむね3年を目途に対応可能なもの、対応が難しいものに分類し、その理由も含め回答することを検討している。

サテライトオフィス

問 改修した空き家等にサテライトオフィス※を開設し、情報通信関連中小企業の誘致を考えているか

企画政策課長 移住体験施設ではサテライトオフィス誘致に必要な情報通信網が整備されている。体験施設の募集案内にネット環境を掲示するとともに町のホームページにも掲載し、周知を図る。

企画政策課長 移住体験施設ではサテライトオフィス誘致に必要な情報通信網が整備されている。体験施設の募集案内にネット環境を掲示するとともに町のホームページにも掲載し、周知を図る。

高齢者の孤立防止

問 これからの高齢者のための地域における包括的な支援体制は

福祉保健課長 国では2025年を目途に地域包括ケアシステム※を構築することを目指しており、町としてもこれに向けて新たな施策に基づく

事業に取り組んでいる。

自主防災組織

問 自主防災組織に対して、町はどのような指導等を行っているか

交通防災課長 防災リーダー養成のための研修会や各種講習会の開催などを通して、地域の主導者となる人材の確保に努め、地域防災力の向上を図っていく。



防災訓練（避難所開設訓練切石区）

道の駅しもべ

問 町として新たなコンセプトのもとに、この施設のリニューアル等を考えているか

産業課長 今後のあり方については、木喰の里微笑館との連携も含め外部有識者を含めた検討委員会の設置を考えている。

※サテライトオフィス

企業本社や、官公庁・団体の本庁舎・本部から離れた所に設置され、勤務者が遠隔勤務ができるよう通信設備を整えたオフィス。

※地域包括ケアシステム

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される高齢者のための支援体制。



望月悟良 議員

問 地域教育資源を活用した取り組みは

答 地域文化を育む人づくりが基本目標

問 小中学校において、どのように地域と関わり、特色ある教育に取り組んでいるか

教育長 町の教育大綱では、「明日のふるさと身延を担う人づくり」を掲げ、郷土を学び・愛し・地域文化を担う人づくりを基本に、地域の協力を得て農作業体験や職場体験、大学連携講座などを行い、地域の教育資源を活かしたキャリア教育などに取り組んでいる。33年度には学習指導要領が改正される。なお一層授業時間数の確保が厳しくなるが、できる限り地域資源の有効活用を図るよう努める。

問 具体的な学習事例は

教育長 なかとみ現代工芸美術館の「生誕二百年木喰展」に合せ、「木喰上人を知る」

学習会として、小中学校を対象に生涯学習課文化財担当が講師となり、木喰上人の生涯や仏像について学んだ。児童生徒は木喰仏の「ほえみ」に関する作品作りを行い、同会場に展示する。



木喰上人を知る学習会（下山小学校）

問 地域の人材活用と事例は

学校教育課長 町教育研修センターの「学びの向学館事業」において地域の教員OBを講師に、学習支援を行っている。中学校では、「職業ワイド相談事業」で地域の警察官、消防士、看護師、薬剤師等の協力をいただき、職務内容を学習し、キャリア教育を実施している。

集落再編計画

問 山間地の集落は、少子高齢化により自治活動の機能が低下している。大規模災害に備え、集落を再編する考えは

企画政策課長 総合計画では集落機能の維持が困難な小規模集落は「集落間協力体制の構築」を基本として集

町道維持管理

落の動向に対応した再編を進め、安心して生活できる環境を整えていくとしている。近隣の集落との間に合併の合意が形成される場合は、町として再編を進める。

問 山間地域では高齢化が進み、道路の維持管理が困難である。町で維持作業を町内業者へ委託できないか

建設課長 建設課職員2人が常時パトロールを実施し、町民から連絡を受けた箇所などその都度対応している。除雪・除草作業は建設業者やシルバー人材センターへ委託しているが、全面的な維持管理委託は考えていない。

問 あけぼの大豆の商品開発は

答 惣菜類を中心に9品目を開発



芦澤健拓 議員



シュウマイ

問 あけぼの大豆は、他の大豆の1.4倍の糖分を含んでいることが証明された。この特徴を生かした商品開発は

産業課長 惣菜類を中心にすでに9品目の商品を開発し、本年9月には本格的に販売を開始する。

問 大豆の増産や商品の販路拡大のために、ブランド化は必要なのか

産業課長 地域特性を前面に出し、差別化を進めることで、消費者の関心と購買意欲を促進させると考えるので、ブランド化は必要である。

問 9品目とは

産業課長 大豆製品では、ヴェジタリアンカレー、ポークビーンズ、七宝煮、淡々煮、枝豆製品では、ポタージュの素、塩麹漬け、ディップスウィーティ、ディップンルティ、シュウマイである。

問 町、農業委員会、JA、農業生産法人などが連携して増産体制を築くことが必要だと思うが

産業課長 現在、大豆振興協議会、生産者、JA、商工会町が一体となり推進している。今後は、農業委員会とも連携して、耕作放棄地の解消や担い手の確保により増産につなげていく。

問 低農薬、添加物不使用などで安心・安全な食品を目指すことは

問 議会にタブレットを導入することのメリット、デメリットは

※障害者法定雇用率
 常時雇用する労働者を雇用する事業主は、その雇用する対象障がい者である労働者の数が、その雇用する労働者の数に応じて雇用しなければならない。

産業課長 低農薬、有機肥料の使用、無添加、天然調味料使用、真空調理や冷凍加工により消費者ニーズに添えていく。

障がい者雇用

問 障害者法定雇用率※は総務課長 雇用促進法によると、本町の雇用者は、4.5人以上だが現在5人雇用している。

問 障がい者雇用には、役場内の改修等が必要だが総務課長 現在雇用している障がい者からは、特に要望がないので予定はない。

タブレット導入

問 タブレット導入を検討していくことは

財政課長 議会、執行部がともに導入効果を検討することが必要であると考えている。

財政課長 最大のメリットは、ペーパーレス化で、紙資料、印刷コスト、配布コスト、手間の削減等が考えられる。資料の共有化、事前閲覧などで、会議進行がスピードアップし、行政運営の効率化が図れる。デメリットは、費用対効果、セキュリティ対策などに相当の準備期間が必要になる。



赤池 朗 議員

問 ゆるキャン△ブームの活用は

答 地元が盛り上がるのが大切

問 本町で関連している場所はありますか

観光課長 本栖湖畔、旧下部小中学校、飯富にあるスパー、本栖湖キャンプ場、浩庵荘、身延駅前しょうにん通り、富山橋、甲斐常葉駅など。

パンフ等は作成する予定はあるのか

観光課長 今後も、観光集客用パネル展として旧下部中学校に展示していく。商工会や地元五条ヶ丘活性化推進協議会の方々の活動に対し、町としても支援していく。

問 関連商品の開発展開の窓口を明確にしておく必要があると考えるが、また使用許諾の申請等はどこで行うのが良いか

観光課長 窓口は観光課で行っており、制作会社と交渉を行います。県の観光機構においても

問 ブームを一過性で終わらせないためには

観光課長 地元が盛り上がるのが一番大切。地元や町内の商店街を巻き込み、事業展開して行くことが望ましい。

和紙の里の現状と今後

問 木喰展の状況は

生涯学習課長 8月26日現在、入館者数は4470人。歴代展覧会を更新している。

問 美術館の今後の運営は

生涯学習課長 今後、委員会において意見の集約を進めながら、目的や事業・名称の変更、条例・規則の改正など検討していきたい。

中部横断自動車道

問 開通を控えイベント等を計画しているか

建設課長 部分開通を迎える南部町と協議をする中、部分開通に伴うプレイベントの開催を検討している。

みのぶ自然の里

問 年中無休だが、冬季閑散期に定休日を

観光課長 職員の資質の向上の為の研修会へも積極的に参加できる体制づくりや、そのための時間の確保の為、定休日等を検討する。

リユースバンク

問 中高生の制服等、まだ活用出来る物品についてリユースバンク等の設置を

環境上下水道課長 卒業後に不要となる制服、体操着等は、保護者間で情報交換を行いながら検討していただきたい。

問 施設整備(案内看板、



商工会が作成したマップ

問 統合以外の子ども達にもスクールバスを

答 今できる対応で一歩ずつ取り組む



渡辺文子 議員

問 豊岡・大河内地区等から

もスクールバス利用の要望がある。保護者や子ども達と相談し、要望に添った計画を早急に

学校教育課長 予算と関係

するので、今できる対応で一歩ずつ前に進めて取り組む。

問 ブロック塀を含めた通学

路の点検は

学校教育課長 各小中学校へ

ブロック塀の確認を依頼。中学生は夏休み中に保護者と危険個所の点検をして現在、学校と担当者が結果の取りまとめ中。

問 危険個所があった場合、

予算も関係するので早急に対処すべき

学校教育課長 スピードアップ

を図り取り組む。

問 スクールバス通学で欠席

の場合の連絡方法は

学校教育課長 学校へ保護者

が欠席等の連絡をすればいいことになっているが、周知を図りたい。

問 一斉下校でなく低学年の

早い下校を

学校教育課長 一番安全な下

校方法が一斉下校だが、入学したばかりの時期の下校については保護者にも意見を聞いて検討したい。

プールの利用

問 身延中学校は、夏休みの

プール開放をしていないが、下山小学校以外の小学校でのプール開放で、中学生も利用できないか

学校教育課長 体格の大きい

中学生が一緒だと、低学年に心配な面があり、利用で

きない。



使用されていない旧下部小中学校プール

問 下部地区の子ども達は近

くにプールがあるのにスクールバスを使い下山小学校のプールに行っているが、旧下部小中学校のプールの利用ができないか

学校教育課長 すでに学校

施設ではなく、今後の活用は事業の目的や施設の管理者など決めなければならぬ。

夏休み中の学童保育に給食を

問 働きながら子育てをして

いる保護者にとって食中毒が心配な夏休み中にお弁当作りは負担なので、給食を提供してもらうと助かるという声を聞いた。全国的にも増えているが

子育て支援課長 学童保育を

利用している児童だけのサービスは平等の観点から考えていない。



田中一泰 議員

問 身延中校舎新築より庁舎建設を

答 現庁舎も築36年経過だが、身延中校舎を優先

問 今、身延中校舎の新築計画が進められているが、町民全体の問題である庁舎建設がより重要と考えるが

町長 本庁舎については昭和56年竣工以来36年が経過し、老朽化が進んでいるが、現時点では、生徒が安心・安全で継続的に利用できる校舎を優先するべきと感じている。併せて合併特例債等の有利な財源が活用できる期間内に身延中学校の整備を進めたい。

町長 本庁舎については昭和56年竣工以来36年が経過し、老朽化が進んでいるが、現時点では、生徒が安心・安全で継続的に利用できる校舎を優先するべきと感じている。併せて合併特例債等の有利な財源が活用できる期間内に身延中学校の整備を進めたい。

問 身延中学校新築の一番の目的は

教育長 議会からの意見書、建設検討委員会の提言書及び今回の検証結果などを総合的に判断し、通学環境の格差を減らし平準化をするために町の中央部へ新築する方針とした。

問 現校舎は2024年に解体する計画だが、他の廃校の校舎活用と違うがなぜか

学校教育課長 補助事業の条件として、現在使用している既存校舎は、解体撤去が採択の要件となっている。

問 新築検討委員会の提言に、町の中央付近へ建設することが望ましいが、現在校舎周辺に生徒の居住分布が多いことを考慮して判断されたいとあるが、どう考慮したのか

学校教育課長 学校統合に際して早期建設を強く求める意見のある中で、統合後3年目の移転改築の決断と統合後6年目の移転計画が短いか長いかの意見は分かるところだが、計画立案の過程において年少人口分布についても検討を行った

上で決定した。

問 身延中生徒30年度は174人中87人がバス通学で、この傾向は変わらない。中央に移転することほとんど全員がバス通学になると思うが、費用負担はどう考えるか

学校教育課長 費用については単純に上積みすることなく可能な限り抑制に努めるが、生徒たちが安全な通学を確保する上で必要な負担と考える。

問 身延中新校舎建設の予算計画、返済計画は

財政課長 全体事業費は約35億円とし、想定している内容は、校舎・体育館・プール・テニスコートのほか給食センター・駐車場、緑化施設等で、財源計画は補助金約5億円、基金10億円、起債を約20億円としている。町債の返済は12年で償還するが、元利償還金の70%が交付税措置される。

デマンドタクシー

問 現在、運行していない所があるが、その理由と今後の対応は

交通防災課長 下部2、中富3、身延4の計9地区で乗り入れがない。実際に運行する事業者と現地確認を行い、方向転換、すれ違い等の道路事情により乗り入れ困難と判断した。住民の要望については、地域公共交通活性化協議会や各事業者とも協議していく。

問 山間部の土砂災害が想定されるが

答 より早い避難情報伝達に努める



上田孝二 議員

問 町民多くの居住区が山間部に点在し、崖崩れ・地滑り・土石流等の土砂災害が想定される。各地区の安全を再確認したか

交通防災課長 土砂災害警戒区域を県・町と現地調査を行い、緊急時の情報伝達方法や避難の方法を再確認した。国土交通省甲府河川事務所・山梨県砂防課・甲府地方気象台と町長との直接情報提供ホットラインも設けられており、早期の情報収集、より早い情報伝達に努める。

保育所と小中学校の安全

問 保育所、小・中学校に防犯カメラの設置はしてあるか

子育て支援課長 町立4保育所には現在設置していないが、設置に向け検討している。

学校教育課長 下山小学校に4台設置してあるが、他の小中学校には設置していない。今後、整備に向け、防犯対策の推進に努める。

問 本町のハザードマップの見直しの考えは

交通防災課長 現在、県と国の洪水浸水想定区域図を踏まえ、新たなハザードマップ作成に向け協議を進めている。協議が整い次第作成し、全戸に配布する。

問 町立4保育所のエアコン設置状況と遊戯室のエアコン設置状況は

子育て支援課長 久那土3、常葉2、静川3、原2、計10台、各保育室に設置してある。遊戯室には各保育所とも設置していない。今後、設置を検討していく。

河川敷へ社会体育施設



防犯カメラの設置が望まれる久那土保育所

生涯学習課長 河川の氾濫など災害のリスクが高く、安全性について検討が必要。

問 久那土の三澤川河川敷に町民が楽しめるパターゴルフ場などを造れないか

生涯学習課長 河川の氾濫など災害のリスクが高く、安全性について検討が必要。施設の安全性や維持管理、駐車場や通行の利便性、住民ニーズなど総合的に検討したい。



三澤川河川敷

問 下部地区の活性化を図るためにも、若者からお年寄りが集う場所が必要だと思いが、町長の考えは

町長 下部地区のみならず中富・身延各地区の活性化を図り、住民生活向上を目指すことは大変重要なことで、町全体の活性化につながる。旧久那土中第二グラウンドの活用を含め、慎重に検討していきたい。

農業委員会と議員との懇談会



*と き 平成30年7月25日(水)

午後3時から午後4時30分

*会 場 中富総合会館 A B会議室

*参加者 計45人

(農業委員14人、農地利用最適化推進

委員12人、議員14人、産業課職員3人、

事務局2人)

意見・要望

農業委員、農地利用最適化推進委員
から意見・要望等を頂いたものを掲載
します。
(※抜粋)

○富士川河川敷に生息しているシカ被害のため、草刈りの陳情書・要望書を毎年国交省に出しているが、堤防で除草作業をしている人に聞いたが、許可が出ないので草刈りは出来ないと言われた。町から陳情してもらえないか。

○富士川の木伐採は、個人で要望しても聞いてもらえない。農業委員会と議会の連名で陳情を出してはどうか。大きな組織の名前を使えば国も動いてくれると思う。

○国交省に要望しても伐採はしてくれない。河川防災センターがあるので、そこに要望してみてもどうか。

○農業委員の報酬は、1万円の他、出来高払いだ。議員報酬の10分の1は欲しい。

○農業を続けられる環境が必要だが、山間部ではそれも難しい。高齢化の

進む中、特産品や鳥獣被害の少ない作物を考えないとならない。行政やJAの協力で対策本部を立ち上げ、10年20年先の特産品を考える組織作りが必要だと思う。

○昨年、曙地区の多数の人が鳥獣追払い用花火の資格を取得し、みんなで花火を打ち上げた結果、収穫量も倍増した。一人でも多くの人が協力し合えば、効果が得られる。そんな政策も進めてほしい。さらに、花火の資格も鳥獣害対策のため資格取得費用の補助をもらえるところ有り難い。

○波木井地区では鳥獣被害もあるが、一番の問題は、用水路の管理である。30年前は48軒で用水を管理していたが、総合文化会館とバイパスができたため、耕作地が6割ほど減少した。今は9軒で約3kmと1.5kmの2本の用水路を管理している。高齢化も進み数年後にはいなくなると思う。用水路の管理体制をどうしたらよいか困っている。

○離職し、Uターンして曙大豆に取り組んでいる人もいる。本当に大事なのは、適地適作をすることだと思う。

常任委員会レポート

予算決算常任委員会

委員長 河井 淳

〔現地調査〕

9月6日(木)



林道折八古関線ガードレール破損場所



町道静川大須成曙線 道路災害復旧工事

◆一般会計決算

企画政策課関係

問 ふるさと納税に関する業務委託の内容は

答 寄附金の受付事務、返礼品の発送手続き、礼状と寄附金受領証明書の作成と発送の処理等である。

問 定住促進に係る祝金57件の内訳は

答 結婚祝い金が8件で56万円、就職奨励金が19件で95万円、出産祝い金は、第1子が6件で30万円、第2子が15件で105万円、第3子が7件で210万円、第4子が2件で80万円、合計で576万円である。

交通防災課関係

問 各地区から地下式消火栓を地上式に切替えたなどの要望が出ているが、どのような対応を考えているか

答 設置位置の承諾が得られた個所から順次対応している。

財政課関係

問 旧下部中学校の空き校舎を使用したい場合、借りる側の組織等の要件は

答 ゆるキャン△の関係では、観光課が借り受けて五条が丘活性化協議会と一緒に事業を行っている。空き校舎の利用については、地元で利用して頂く事が良いと考えている。その場合、光熱水費など経常経費の負担はお願いしたい。

問 決算審査意見書では経常収支比率が72・2%と財政の硬直化が懸念されるが、人件費の比率は

答 29年度の人件費の決算額は14億8255万円、決算額の構成比は15・9%である。

税務課関係

問 固定資産税家屋の増減理由と、据え置き期間の自然増とはなにか

答 新築家屋と滅失家屋との課税額の差である。

福祉保健課関係

問 手話通訳者等派遣事業に関する委託料が支出されているが、役場には手話通訳のできる職員はいるか

答 置いていない。役場窓口

では、筆談で対応している。

観光課関係

問 自然の里指定管理者への委託料の監査体制は

答 受託者であるNPO法人みのぶ観光センターへの監査を実施している。商工会による記帳事務指導、税理士への相談により書類を整えている。

子育て支援課関係

問 各学童保育室の登録人数の内訳は

答 29年度の登録人数は、下部30人、西嶋51人、下山49人、身延54人、豊岡20人、大河内44人、合計248人である。

産業課関係

問 あげほの大豆の6次産業化の29年度までの全体事業費は

答 施設整備と運営関係費用が約7600万円、人件費、補助金等を含めると約1億4000万円弱である。

建設課関係

問 上沢北団地は空き室が多いが、今後の対応は

答 町営住宅長寿命化計画において、適切な維持管理を行いながら長寿命化、又は建て替え等を今後検討して行く。

環境上下水道課

問 峡南衛生組合負担金について、南部町が合併したが、負担金の割合に変更は生じないのか

答 負担金の割合は均等割、人口割、事業割で町ごとに算定されている。ごみ処理量は同様であるため、大きく変更にはならない。

問 現在の下水道接続率はどのくらいか

答 中富処理区60・7%、帯金塩之沢処理区85・4%、角打丸滝処理区77・3%、身延処理区49・0%、下部処理区44・1%、事業全体で60・2%である。

下部支所関係

問 ネットワーク下部がNNSに移行するが、現在払っ

ている町の委託料は無くなるのか

答 32年9月30日をもって終了する。

学校教育課関係

問 教育環境の質的向上事業中、委託料の内訳は

答 内訳は、小学校外国語指導業務委託が602万円、中学校外国語指導業務委託が879万円、小学校社会科副読本作成業務委託が880万円である。

生涯学習課関係

問 和紙の里の紙屋なかとみ、金山博物館の商品の在庫の管理方法と棚卸時の数字は

答 金山博物館の売店は、年度末に棚卸しをして在庫確認を行っている。

特別会計決算

◆後期高齢者医療特別会計

問 未納の人が後期高齢者の医療を受けられないという事態はあるか

答 資格者証ではなく短期証で対応している。すべての

町民課関係

問 対応等は

答 本庁舎・両支所については、停電後すぐに家用発電機が稼働する。発電機は定期的に業者による管理を行っている。

人が保険証を使うことになっていく。

介護保険特別会計

問 高齢障がい者の「65歳問題」についてどのように考えるか

答 介護保険サービス優先の原則は法に定められているが、機械的に一律に介護保険サービスを優先するものではない。

下部支所関係

問 使用料の見直しは

答 今年度、奥の湯温泉事業の経営戦略の策定をコンサルティング会社に委託している。その中で検討をしていきたい。

一般会計補正予算第4号

問 停電時の本庁・支所等の

答 本庁舎・両支所については、停電後すぐに家用発電機が稼働する。発電機は定期的に業者による管理を行っている。

企画政策課関係

問 町の歌の制作とは

答 町民の一体感の醸成に向けた一つの取り組みとして、制定することとし、来年町制施行15周年記念事業として制定発表する予定である。

交通防災課関係

問 庁用バスの委託料の増額は中学校の練習試合も利用対象にしたためと説明があったが、今まで保護者が送迎をしていたのか

答 保護者および学校で対応していた。

福祉保健課関係

問 小規模多機能型居宅介護事業所の整備に対する補助金が計上されたが

答 公募したところ、「有限会社 蓮華の里」から応募があり、整備予定箇所は、小田船原地内である。

観光課関係

問 ゆるキャン△音楽祭の予定日と内容は

答 11月3日を予定し、本栖高校の設定となっている旧

下部中学校グラウンドでアニメの主題歌を歌っている歌手等に来ていただき、音楽祭としての実施を予定している。

建設課関係

問 道路橋梁維持管理費の工事請負費の内容は

答 身延地区4カ所、下部地区4カ所、中富地区3カ所である。

生涯学習課関係

問 木喰展の入館者数は

答 8月31日末現在(43,000)で入館者総数が48,200人、過去20年の最高数を更新している。

常任委員会レポート

総務産業建設常任委員会

委員長 上田孝二

▼議案第58号 訴えの提起について

産業課関係

問 相手方はガードレールを破損させたことを認めているか。周辺にも伐採木が散乱しているがそれも片付けるのか。また、復旧費用が高額だが、どのように算出したか

答 29年4月に直接会社を訪問し、ガードレールの破損を問いただしたところ、事実関係を認め、復旧の工程表の提出を受けた。周辺の伐採木も撤去してもらう。費用は、公共事業積算基準により算出している。

問 伐採が行われたのは平成27年以前ということだが、その経過は分かっているのか

答 26年には確認しているが、25年以前は、担当が書面に残していないので分からない。



破損されたガードレール

▼議案第64号 財産の取得について

財政課関係

問 災害備蓄品の一括発注を行っている理由は

答 保存期間や専門性もあり、一括発注をした。

問 中小企業・小規模企業振興基本条例が29年3月に制定され、町内業者への発注機会が見込めるが

答 予定額が大きく入札対象となり、入札指名資格がある業者を選定した。町では、町内業者にも広報やホームページ、商工会を介し、資格参加申し込みを呼びかけている。なお、この案件にとらわれず入札以外の発注に心掛けている。

問 町内何力所に備蓄するのか

答 数量も多くスペースを確保できる、旧大河内小と旧豊岡小の空校舎に配備する予定。

認定第1号

▼29年度一般会計及び

特別会計決算

・一般会計教育費

反対 渡辺議員

スクールバス運行業務費について、一斉下校ではなくバスを2便にして、低学年は早く帰宅できるようにすべき。子どもや保護者の思いに寄り添うべきで、この決算には反対。

賛成 川口議員

学校という組織においては決まりを守ることが大前提である。集団登校、集団下校等をはじめ、決まりを守るというのが学校の目標でもあり、現状を続けることで賛成。

・介護保険特別会計

反対 渡辺議員

国民に負担を押し付ける制度改正でなく、誰もが安心して必要なサービスが受けられる制度にすべきだと考え、この決算に反対。

賛成 野島議員

高齢者人口が増え続ける現状の中でぎりぎりの選択をした決算であると質疑の上で納得した。介護保険の上昇を抑えるためには、町民が健康で長生きする環境をつくること。町が健康増進をもっと進めていくことに解決の力がある。今後介護予防や保険給付の適正化、保険料収納率の向上に尽力されるとともに、制度の周知や啓発に努めるなど一層の経営努力をされることを要望して賛成。

・後期高齢者医療特別会計

反対 渡辺議員

改定ごとに保険料が上がる仕組みなど、お年寄りじめの制度で、問題だらけのこの制度は廃止し、以前の老人保健に戻すべきなので反対。

議案第59号

▼30年度一般会計補正予算

反対 福與議員

教育費の委託料83万円は新中学校建設に関わる予算

反対 芦澤議員

町の歌製作費について、昨年、小中学生と町長と語る会での提案で、来年迎える町制施行15周年事業として制定発表すると担当課から説明を受けた。町の歌を作ることは悪いことではないが、小中学生からの提案をそのまま受け取って議会へ提案するのはなく、議会にも事前に話し合いをしてなら納得がいく。これをきっかけに町民の一体感の醸成ということだが、中学校校舎の問題にしても不公平感を解消しない限り町民の一体感の醸成は無理ではないか。まずその辺の町民に対する態度を変えていくことのほうが歌を作るよりも重要と考え、反対。

賛成 川口議員

議会の中でも長期にわたる議論を重ねた結果、最終的に1中にする条件として中央へ建設するということが統合した経緯がある。ゆえに早期にこの計画を実施し、中央へ建設するための関係予算なので賛成。

反対 田中議員

教育費の新中学校建設用地交渉出張費と不動産鑑定業務委託料について、建設用地が確定していないなど不明確なところが大きいというので反対。

賛成 広島議員

今までの経過を踏まえ、30年度に予算計上すべき妥当な措置だと認め賛成。

議案に対する賛否 (賛成：○・反対：×・棄権：△・欠席：欠)		伊藤雄波	伊藤達美	望月悟良	赤池朗	上田孝二	田中一泰	野島俊博	河井淳	芦澤健拓	福與三郎	渡辺文子	川口福三	広島法明	柿島良行
●決算認定															●議長は採決に参加しない
認定第1号	平成29年度身延町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	
●補正予算															
議案第59号	平成30年度身延町一般会計補正予算(第4号)	1億8471万5千円増額(工事請負費ほか)													
		○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	

全員賛成にて可決・同意・採択されたもの

- ・ 議案第58号 訴えの提起について(林道折八古関線施設破損の原状回復)
- ・ 議案第60号 平成30年度身延町介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ・ 議案第61号 平成30年度身延町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- ・ 議案第62号 平成30年度身延町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ・ 議案第63号 平成30年度身延町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ・ 議案第64号 財産の取得について(災害備蓄品)
- ・ 請願第1号 子どもたちにきめ細かな教育を実現するための、少人数学級推進及び教育予算拡充に関する請願書
- ・ 同意第2号 身延町教育委員会委員の任命について(三澤 今村文子氏)
- ・ 同意第3号 身延町公平委員会委員の選任について(西嶋 笠井一雄氏)

○追加案件

- ・ 発議第1号 子どもたちにきめ細かな教育を実現するための、少人数学級推進及び教育予算拡充に関する意見書案
- ・ 発議第2号 太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書案
- ・ 発議第3号 身延町議会基本条例策定特別委員会の設置について

◆定例会

- 日 時 平成 30 年 9 月 28 日 (金) 午後 5 時から
- 出席者 渡辺文子議員、野島俊博議員、田中一泰議員、上田孝二議員、望月悟良議員
- 内 容 認定第 1 号 平成 29 年度病院事業会計決算認定 全員賛成で認定
報告第 1 号 平成 29 年度病院事業会計資金不足比率の報告

◆臨時会

- 日 時 平成 30 年 10 月 3 日 (水) 午後 5 時から
- 出席者 渡辺文子議員、野島俊博議員、田中一泰議員、上田孝二議員、望月悟良議員
- 内 容 9 月 30 日に任期満了となった組合長が、望月幹也 (身延町長) から 10 月 1 日より辻一幸 (早川町長) に交替した。
それに伴い、議長・副議長の選挙が行われ
議長に渡辺文子議員 (身延町)
副議長に望月恒議員 (早川町) が選任された。

議会広報編集委員会

山梨県町村議会広報編集委員行政視察

◆視察研修

- 県内町村議会広報編集委員 19 人 事務局員 2 人
身延町議会参加議員；赤池朗委員長、望月悟良副委員長、伊藤達美委員
- 平成 30 年 8 月 29 日 (水) 埼玉県寄居町議会 (議会広報紙コンクール全国最優秀賞)
- 平成 30 年 8 月 30 日 (木) 群馬県玉村町議会 (議会広報紙コンクール全国優秀賞)
- 感想 寄居町議会 多くの町民が登場し、編集発行の流れがしっかり決められている。
玉村町議会 タイトルや見出しが判りやすい。
両町とも編集段階から業者と一緒に製作している。



埼玉県寄居町議場にて



群馬県玉村町議場にて

町長あいさつ



望月幹也町長

『生誕二百年木喰展』を機に

生誕の地、身延を全国に発信

●異常気象

今年是全国的に異常気象が続いており、被災された方々に対して衷心よりお見舞いを申し上げます。

本町でも体温を超える気温を観測するなど、健康状態はもとより、農作物などへの影響も心配されるところである。

●普通交付税

本年度の交付税は7月24日に県から公表され、前年度より48008万円少ない約39億3993万円になった。歳入予算の約半分を交付税が占める本町では、今後とも財政運営の健全化に努めていかなければならない。

●営業日向宅分譲

5区画で1区画の平均面積は318㎡で9月中旬をめぐりに販売開始をする。

地域の方々や知人友人に積極的に声掛けをし、若者の定住促進に協力をお願いしたい。

●防災訓練

9月2日の日曜日に、南海トラフ地震発生を想定した「身延町防災訓練」を各自主防災会、消防団の協力により実施された。

地域においても有事の際に機能する地域コミュニティを構築していただくことをお願いしたい。

町でも備蓄食料や飲料水等の備蓄品の拡充を図るとともに、町民の皆さんに向けて、さらなる防災意識の高揚に努めていきたい。

●みのぶ自然の里

4月から8月末日まで、宿泊1355人・日帰り2222人の利用者があり、今後も利用が増える

ように全庁的に協力していくので、町民の皆様の理解と協力をお願いしたい。

●生誕三百年木喰展

7月14日から10月21日までの展示も8月末日で4820人の入館者があり、会場のなかとみ現代工芸美術館20年の歴史で最多記録となった。ふるさと身延の宝である木喰さん、そして生誕の地、身延を全国に発信するまたとない機会になることを期待する。

●下部温泉会館

建設から34年が経過し老朽化が著しく、利用者も減少してきている状況をふまえ、今後の在り方を検討するため、6月26日に10人の委員を委嘱し、検討委員会を開催し、本年度の早い時期に方向性を示していただくこととなっている。

●国民健康保険制度

本年4月から財政基盤の強化が目的で、山梨県が財政運営の責任主体となり、新たにスタートした。

改革の概要や保険税率の改正などの変更点を町の広報でも掲載したが、おおむね順調に移行できていると感じている。

●結び

今後の中長期的な視点に立ち、各種の施策を総合的に実施し、「生まれよかつた育つてよかつた住んでよかつた身延町」を目指して、町民の皆様が活力と幸せを実感でき、賑わいのあるまちづくりに取り組んでいく。

★表紙について (P1)

- ・夏祭りの様子は伝わりますが、隙間が見えるブルーシートの色ばかりが目立ち、肝心のお祭りの様子があまり伝わってきません。個人情報の取り扱いもありますので仕方がないかもしれませんが、参加者の背中ばかりが気になります。
- ・とよおか夏まつりがどのようなものか一行でも説明がほしかった。この写真は去年のもの？だと思うので年月日を明記したほうがよいのでは？

★町民と議員との懇談会 (P3～5)

- ・身延町(身延・中富・下部)になってから10年程過ぎたと思うが、3ヶ所に分けて懇談会をすることはイメージとして旧3町がまだ一体化していないと違和感がある。たしかに小さな問題をすいあげていくことはできると思うし、いつまでたっても旧3町の利権をつなひきしているようなイメージをもたざるをえない。答弁に「できない」「要請・要望していく」「検討する」はわかるが、下部地区のA6の具体的な対策案みたいな答弁が少ない。もっとつめた話にして提案していけばよりよくなると思う。
- ・毎回同じ様な事が質問に多いと思うのは私だけでしょうか？

★おじゃまします (P16)

- ・少子化の中での団員集めは大変なことだと思いますが、熱心な指導者がいるからこそして、少年団も維持できるのではないのでしょうか。町からも補助金などを出して応援してもいいのではないのでしょうか。

モニター通信

(議会だよりNo.55の意見・感想等)

議会広報モニターの皆様のご意見・ご感想等を要約したものです。貴重なご意見等を参考に、町民の皆様「心に伝わる」議会だよりを目指します。

★一般質問 (P6～9)

- ・一般質問に対して、しっかり回答されている様子がうかがえます。議会の中ではもう少し詳細に説明されている事項もたくさんあると思います。文字数の関係もありますが、詳細な説明が必要な問いには多めにし、メリハリをつけてもいいと思います。
- ・あけぼの大豆はかなり人気(需要)があると聞き、町の施策としては少し希望もてるのかなと思いました。さらに情報発信して、全国区の知名度を勝ち取ってください。
- ・子どもの貧困調査についてですが、最近多く聞く言葉ですが、いったいどこまでが貧困でなく、どこからが貧困なのかについてお聞きしたいと思います。

★町長あいさつ (P14)

- ・議会だよりに町長あいさつが必要なかがわからない。それよりも町長の施策に対する町議の意見の方がおもしろいと思う。

★モニター通信 (P15)

- ・モニターさんの意見・問題点等いろいろと書かれてありますが、何か一方通行の様で何か虚しい。一言のコメントが一層町との繋がりになっていくのではないかと思います。

★町政全般についての意見、要望等

- ・旧下山公民館は解体され、現在更地になっています。「跡地はどうするのかね？」という声をよく耳にします。解体してから間が長いですから、町のお考えを町民にお伝えしたらいかがでしょうか。
- ・世論調査を見て、国の政策が国民の意見を反映していないと思うことがしばしばあります。国会議員は本当に大多数の民意を代弁しているのでしょうか。身延町は、ぜひ民意を尊重する町であってほしい。

★身体障がい者福祉会と議員との懇談会 (P2)

- ・公共施設・公民館等のバリアフリー化について、身体障がい者は重度(車いす使用)の方々から見た目健常者と思われる人もたくさんいます。場所を指定するも大事ですが、あらゆる箇所も考えていただける事を望みます。
- ・国や県も障がい者雇用率の水増しが明らかになりましたが、本町ではこのようなことはなかったのでしょうか。

★常任委員会レポート (P10)

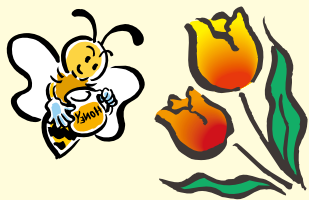
- ・内容的に問答形式でなくてもいいのではないのでしょうか。かえて文章形式のほうが読みやすくなる事もあるのではないのでしょうか。

★質疑応答・議案に対する賛否 (P11)

- ・低地にある総合文化会館が災害時の「避難所」に指定されていることの方が問題なのでは？

★組合議会報告・議員研修 (P12～13)

- ・読みましたが、つまらなかったです。いつ、どこで、だれが、研修内容、これを読んでも面白くないです。モニター通信で他のモニターさんも書かれてましたが、研修してこう思ったという意見があった方が読みごたえがあると思います。
- ・議員研修会にて、「災害などにおける議会の危機管理」という公演を議員の皆さんがお聞きになって一朝有事の際には議員の皆さんあるいは議会としてどの様な対応ができるのか!?この議会だよりを通じて発信していくことも大切ではないのかと感じました。



おじゃまします



ゆるキャン△を通して地域の活性化

「五条ヶ丘活性化推進協議会」

五条ヶ丘とは、旧下部小中学校のあった丘のことです。

地域の活力が低下し、今まで以上に地域住民の相互の親睦と、自助・共助の意識を深めることが求められています。

旧下部小中学校の跡地利用の検討並びに町内の観光資源等と連携し、地域活性化を推進する活動を行うことを目的に設立されました。(現在、会員13人)



本栖高校（旧下部中学校）



キャンプの片付けに参加したメンバー

アニメ「ゆるキャン△」の影響で、多くのファンがモデル舞台地の一つである五条ヶ丘の旧下部中学校、甲斐常葉駅を訪れています。

協議会では、地域住民へのアニメ「ゆるキャン△」の周知と訪れる方への案内のために、地域の皆様のご協力を頂き4月21日に看板を設置しました。

引続き地域の皆様のご理解ご協力を頂き、町内外から訪れる多くのファンを迎え入れることができたらと思っています。

今後も多方面で地域活性化に取り組んでいきたいと思っています。

決定 町民と議員との懇談会

- 11月10日（土）午後7時30分
身延地区公民館 豊岡分館
- 11月15日（木）午後2時
下部温泉会館
- 11月17日（土）午後7時30分
曙コミュニティセンター

※詳しくは、回覧等でお知らせします。

問い合わせ先

五条ヶ丘活性化推進協議会
会長 深山光信
山梨県南巨摩郡身延町常葉 439
0556-36-0536